

# 永遠の水のひろごり

(昭和二十七年寮歌)

村上啓司君 作歌

田畑実君 作曲

一

永遠の水の広がり

去にし全ての名残りをしるす

陽の光水の面にわたらず

厚き雲の低くたれたり

大いなる水と強き風との

須臾なる静けさ今ぞ破れん

無限の過去の名残りを無みと

今こそ吾等雄々しく立たん

二

再びす宣臂の叫び

血をもて駈りし訓えを忘る

屈辱の条文は結ばれ

時の声の高く頭る

核崩壊なる強き力は

生命と愛とを毀ち捨てなん

再び過去の犯ちせじと

今こそ吾等凜々と起たん

三

北国の樹々の直さよ

牧場の草の色の濃緑さよ

永き冬厳しき試練に

打ち耐えたる姿美わし

潮風荒べる荒磯にさえ

名もなき草木の生をば享受ぬ

自然の真理の頌歌を唱い

今こそ吾等深く究めん